

## 分類改正改訂委員会(URC) 運営方針(案)

### 目的

ICD-10の妥当性の継続を確保するため、分類改正改訂委員会(URC)のメンバー全員がICD-10の改正改訂の全3フェーズに積極的に参加し、貢献することが不可欠である。積極的な参加が意味するところは、下記の通りである。

- いかなるメンバーも投稿の提出期限内においてICD-10プラスプラットフォーム上で提案の投稿を行なうことができる。
- メンバーは全員、第1次投票においてすべての提案を検討しコメントを行なう。これには、原提案の代替案または修正案の提案を含むこともある。
- 投票メンバーは全員、第1次および第2次投票において、“no”または“can't decide”の理由を明記する。
- メンバーは全員、世界保健機関の国際分類ファミリー(WHO-FIC)の年次総会で、ICD-10プラスプラットフォーム上の第1次および第2次投票で受理されなかった提案をすべて討議する用意があるものとする。

ICD-10プラスプラットフォーム上での2回に渡る投票と年次総会という、この3フェーズによるアプローチの意図するところは、下記の通りである。

- 第1次投票に係るレビューに幅広く知識を投入すること。
- 第2次投票の終了時まで可能な限り多くの提案に同意を得ること。
- 年次総会ではコンセンサスが得られていない提案の決議に限定すること。

### ICD-10プラスプラットフォーム手順

決定が待たれる提案に関して、各国は分類改正改訂委員会のメンバー全員によって検討される提案、および、分類改正改訂委員会のほかのメンバーによる提案に対するフィードバックをするための1枠を持つ。

現在、投票メンバーは、各国代表者または協力センター代表者11名、および死因分類改正グループ(MRG)、疾病分類グループ(MbRG)、WHOからそれぞれ1名の計14名で構成されている。

年次プロセスで検討されるためには全ての提案は

- 各国および協力センターに関しては3月末まで、死因分類改正グループと疾病分類グループに関しては4月末までに投稿が行なわれること。この期日以降の投稿は、次年度に検討されることとする。
- 投稿フォームの全項目に入力を行なうこと。

ICD-10プラスプラットフォーム上の第1次および第2次投票において各提案を検討し投票を行なうのは、各投票メンバーの責任である。

*例外 死因分類改正グループと疾病分類グループは、各グループでコンセンサスが得られた提案と投票のみ投稿する。*

**第1次投票 投票期限は6月30日**

- “no”には、反対の理由を添え、さらに修正案または代替案を適宜提案する。
- “yes”には提案の支持理由を添えても良い。
- “can't decide”には、コメントを添えることとする。

**第2次投票 投票期限は8月31日**

- すべての提案について再検討され、投票が実施される。
- 修正された提案 - 投票者は、原提案と修正案のどちらを支持するか表明する。原提案の投稿者も含まれる。
- 修正なしの提案に関しても投票されなければならない。これは、コメントによって提供された新しい情報を考慮した結果、投票の結果が変わる可能性があるためである。

**承認プロセス**

本プロセスの目的は、各提案に関してメンバー間でコンセンサスを得ることである。

ICD-10プラスプラットフォーム上の第2次投票の終了時には、下記の事項が行なわれる。

- 分類改正改訂委員会の議長と事務局は、全提案を検討し、承認を決定する。このプロセスは、WHO分類・ターミノロジーチームとの協議により行なわれる。
- 最終決定が下された時点で、メンバーはその旨通知される。
- メンバーは年次総会で未解決の提案について討議することとする。

**年次総会における提案の最終的な扱いを決める手順**

1. 全メンバーは討議される提案について熟知していなければならない。
2. 提案の投稿者は、ICD-10プラスプラットフォームの第2次投票において出された、“no”または“can't decide”のコメントに対して、2分間以内で理由または反証を述べる。
3. 分類改正改訂委員会のメンバーは、質問または反論を1回行なうことができる。
4. 各メンバーが提案を検討する機会を得、投稿者が回答する機会を得た後、最終決定が下される。
5. コンセンサスが得られない場合、投稿者は翌年度以降に再提出するか、提案を取り下げるか、選択する。

年次総会の終了時に、すべての投稿は下記に振り分けられる。

- 受理
- 修正つき受理
- 取り下げ
- 翌年度以降に持ち越し
- 却下